

泌尿器科学

1 構成員

	平成20年3月31日現在
教授	1人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	2人（2人）
助教（うち病院籍）	4人（2人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	3人
研修医	0人
特任研究員	1人
大学院学生（うち他講座から）	2人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	6人
合 計	20人

2 教員の異動状況

- 大園誠一郎（教授）（H15. 4. 16～現職）
 牛山 知己（准教授）（H18. 3. 1～H19. 3. 31助教；H19. 4. 1～現職）
 麦谷 荘一（講師）（H16. 3. 1～現職）
 栗田 豊（講師）（H18. 4. 1～現職）
 古瀬 洋（助教）（H14. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
 高山 達也（助教）（H12. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
 大塚 篤史（助教）（H15. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
 永田 仁夫（助教）（H18. 4. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成19年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	9編（1編）
そのインパクトファクターの合計	11.153
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	7編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	15編（15編）
そのインパクトファクターの合計	0

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	9編 (9編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	3編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	3.154

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Mugiya S, Ozono S, Nagata M, Takayama T, Furuse H, Ushiyama T.: Ureteroscopic Evaluation and Laser Treatment of Chronic Unilateral Hematuria. The Journal Urology 178:517-520, 2007.

インパクトファクターの小計 [3.956]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Un-no T, Hayami S, Nobata S, Sudoko H, Honma S, Fujita K, Ozono S.: Neonatal Exposure to Estrogen in the Wistar Rat Decreases Estrogen Receptor-Beta and Induces Epithelial Proliferation of the Prostate in the Adult. Urologia Internationalis 79:345-351, 2007.
2. Senga Y, Ozono S, Nakazawa H, Nagamori S, Marumo K, Horie S, Onishi T, Miyao N, Nakao M, Igarashi T, Tsushima T, Hasegawa M, Murai M, and Japanese Society of Renal Cancer (JSRC) .: Surgical outcomes of partial nephrectomy for renal cell carcinoma: A joint study by the Japanese Society of Renal Cancer. International Journal of Urology 14:284-288, 2007.
3. Marumo K, Kanayama H, Miyao N, Nakazawa H, Ozono S, Horie S, Nagamori S, Igarashi T, Hasegawa M, Kimura G, Nakao M, Nakamoto T, Naito S, and Japanese Study Group Against Renal Cancer.: Prevalence of renal cell carcinoma: A nation-wide survey in Japan, 2002. International Journal of Urology 14:479-482, 2007.
4. Yamaguchi O, Marui E, Kakizaki H, Itoh N, Yokota T, Okada H, Ishizuka O, Ozono S, Gotoh M, Sugiyama T, Seki N, and Yoshida M on behalf of the Japanese Solifenacin Study Group.: Randomized, double-blind, placebo- and propiverine-controlled trial of the once-daily antimuscarinic agent solifenacin in Japanese patients with overactive bladder. BJU International 100:579-587, 2007.
5. Fujimoto K, Matsumura Y, Tani Y, Ozono S, Hirao Y, Okajima E.: Tissue levels of pyrimidine nucleoside phosphorylase activity in human and rodent bladder cancer and normal bladder tissue. International Journal of Urology 14:754-759, 2007.
6. 新保 齊, 今西武志, 大塚篤史, 栗田 豊, 大園誠一郎: 非泌尿器科医に対する過活動膀胱診療に関するアンケート調査, 臨床泌尿器科 61:911-916, 2007.
7. Li B, Suzuki K, Tsuru N, Ushiyama T, Ozono S.: Retrospective comparative study of 59 cases of laparoscopic radical prostatectomy: Transperitoneal anterior versus transperitoneal posterior approach. International Journal of Urology 14:1005-1008, 2007.
8. Watanabe T, Maruyama S, Maruyama Y, Kageyama S, Shinbo H, Otsuka A, Ozono S.: Seasonal changes in symptom score and uroflowmetry in patients with lower urinary tract symptoms. Scandinavian Journal of Urology and Nephrology 41:521-526, 2007.

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 麦谷荘一, 永田仁夫, 古瀬 洋, 牛山知己, 大園誠一郎, 平野泰弘, 工藤真哉, 佐藤滋則: 表在性膀胱癌に対するBCG膀胱腔内注入療法-再発予防効果の検討-, BCG・BRM療法研究会会誌 30:91-96, 2006.
2. 大塚篤史, 新保 斉, 松本力哉, 石川賀子, 西口富三, 金山尚裕, 牛山知己, 大園誠一郎: 女性の下部尿路症状患者における排尿パラメーターの検討, 日本女性骨盤底医学会誌 4:120-124, 2007.
3. 高山達也, 杉山貴之, 甲斐文丈, 青木高広, 原田雅樹, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 牛山知己, 大園誠一郎: 乳頭状腎細胞癌の臨床的検討, 腎癌研究会会報 33:27-28, 2007.
4. 高山達也, 永田仁夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 原発性高尿酸血症 2 型の人種差および地域分布, 日本尿路結石症学会誌 6:104-107, 2008.
5. 永田仁夫, 塩谷 尚, 岸本 肇, 高倉英博, 坂尾 正, 古瀬 洋, 栗田 豊, 麦谷荘一, 牛山知己, 大園誠一郎: 浜松市浜北区 (旧浜北市) におけるPSA検診 3 年間の検討, 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌 16:70-71, 2008.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 石川賀子, 西口富三, 田村直顕, 和田久恵, 谷口千津子, 金山尚裕, 新保 斉, 大塚篤史, 大園誠一郎: 下部尿路の画像評価: 鎖膀胱造影法と超音波断層法の比較, 日本女性骨盤底医学会誌 4:76-79, 2007.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. 甲斐文丈, 高山達也, 鈴木明彦, 工藤真哉, 杉山貴之, 古瀬 洋, 栗田 豊, 麦谷荘一, 牛山知己, 大園誠一郎: 下大静脈腫瘍血栓を伴う腎癌手術症例の臨床的検討, 腎癌研究会会報 34:36-37, 2008.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 麦谷荘一: 特集 患者さんの訴えからわかる! 術後急性期症状コントロール「4 あくび, 冷や汗, 吐き気がする」, 泌尿器ケア 12:18-19, 2007.
2. 麦谷荘一: 特集 患者さんの訴えからわかる! 術後急性期症状コントロール「5 発熱した」, 泌尿器ケア 12:20-21, 2007.
3. 麦谷荘一: 特集 患者さんの訴えからわかる! 術後急性期症状コントロール「6 飲水・食事開始後, お腹が張ってきた, 嘔吐した」, 泌尿器ケア 12:22-23, 2007.
4. 大園誠一郎: 表在性膀胱癌の治療, Urology Today 14:94-97, 2007.

5. 麦谷荘一: 経尿道的尿管碎石術, Japanese J Endourology and ESWL 20:194-198, 2007.
6. 大園誠一郎, 栗田 豊: 生理食塩水を灌流液として使用する新しいTURシステム, 泌尿器ケア 12:76, 2007.
7. 高山達也, 永田仁夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 過シュウ酸尿症 2 型, 新しい診断と治療のABC 52 腎結石・尿路結石 腎6: 77-82, 2007.
8. 永田仁夫, 高山達也, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 過シュウ酸尿症, 新しい診断と治療のABC 52 腎結石・尿路結石 腎6: 137-141, 2007.
9. 麦谷荘一, 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎: 尿管結石の治療, 新しい診断と治療のABC 52 腎結石・尿路結石 腎6: 214-219, 2007.
10. 大園誠一郎, 原田雅樹, 古瀬 洋, 麦谷荘一: 前立腺癌 - 基礎・臨床研究のアップデート - II. 臨床研究 治療 内分泌療法 内分泌療法の実際 アンチアンドロゲン剤, 日本臨床 (増刊号) 65:442-445, 2007.
11. 大園誠一郎, 古瀬 洋, 高山達也: 泌尿器科系悪性腫瘍 II. 進行性前立腺癌の薬物治療 (新薬開発の可能性を含めて), 癌と化学療法 35:35-38, 2008.
12. 大園誠一郎, 古瀬 洋: 腎盂尿管癌の再発・転移のリスクファクターと術後補助療法, Urology View 6:94-98, 2008.
13. 大園誠一郎, 栗田 豊: 診療に関するQ&A「前立腺肥大症の薬物治療開始後に必要な定期的検査とその頻度を教えてください」回答, ファーマナビゲーター下部尿路機能障害編:248-252, 2008.
14. 麦谷荘一: 上部尿路結石に対するTULの適応と問題点, 日本尿路結石症学会誌 6:1-8, 2008.
インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 速水慎介, 栗田 豊, 大園誠一郎: 経直腸超音波Power Doppler法は前立腺組織構築を予測するのに有用である, 排尿障害プラクティス 16:53-59, 2008.
インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 高山達也, 大園誠一郎: 腎がんの病期分類と主な症状1) 腎がんの病期分類, インフォームドコンセントのための図説シリーズ 「腎がん」: 52-55, 2007.
2. 麦谷荘一: 内視鏡検査, Resident Compass 泌尿器科編: 64-67, 2007.
3. 大園誠一郎, 栗田 豊: 前立腺肥大症・排尿障害改善薬, 治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント2008: 675-687, 2008.
4. 大園誠一郎, 古瀬 洋, 麦谷荘一: 腎盂・尿管癌, 最新泌尿器科診療指針: 151-156, 2008.
5. 大園誠一郎, 高山達也: 腎細胞癌の病期分類, 腎細胞癌 診断・治療ハンドブック - 腎細胞癌における分子標的治療薬の役割 - : 34-46, 2008.
6. 牛山知己: 器具の使用法と安全な剥離切開操作(1) - 電気メスを中心に -, 泌尿器腹腔鏡手術

ベーシックテクニック安全な手術のために: 71-81, 2007.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 竹原康雄, 阪原晴海, 大園誠一郎: 腎がんの検査 1) 画像診断, インフォームドコンセントのための図説シリーズ「腎がん」: 36-45, 2007.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 吉田 修, 大園誠一郎: インフォームドコンセントのための図説シリーズ「腎がん」, 2007.
2. 藤岡知昭, 三木恒治, 赤座英之, 大園誠一郎, 小川芳弘, 笥 善行, 金山博臣, 執印太郎, 篠原信雄, 高橋俊二, 富田善彦, 島居 徹, 内藤誠二, 野々村祝夫, 原 勲, 平尾佳彦, 井上啓史, 江藤正俊, 及川剛宏, 加藤智幸, 木内利明, 杉元幹史, 高橋正幸, 近田龍一郎, 中澤速和, 永森 聡, 西谷真明, 麦谷莊一, 小原 航, 水谷陽一: 腎癌診療ガイドライン 2007年版: 日本泌尿器科学会, 2007.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 古瀬 洋, 鈴木孝尚, 永田仁夫, 青木高広, 原田雅樹, 大塚篤史, 栗田 豊, 麦谷莊一, 牛山知己, 中西利方, 西山元啓, 鈴木 実, 山本尚人, 海野直樹, 大園誠一郎: 腎動脈瘤に対する内腸骨動脈グラフトを用いた血行再建の経験, 腎移植・血管外科 19:29-33, 2007.
2. Takayama T, Nagata M, Ozono S, Nonomura K, Cramer SD: A novel mutation in the GRHPR gene in a Japanese patient with primary hyperoxaluria type 2. Nephrology Dialysis Transplantation 22: 2371-2374, 2007.

インパクトファクターの小計 [3.154]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 鈴木孝尚, 栗田 豊, 永田仁夫, 大塚篤史, 新保 斉, 古瀬 洋, 寺田央巳, 麦谷莊一, 牛山知己, 大園誠一郎, 河崎秀陽: 移行上皮癌と粘液癌とが混在した原発性尿管癌の1例, 泌尿器科紀要 53: 883-886, 2007.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成19年度
特許取得数（出願中含む）	2件

5 医学研究費取得状況

	平成19年度
(1) 文部科学省科学研究費	2件 (260万円)

(2) 厚生科学研究費	1件 (30万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	7件 (282万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	27件 (2,164万円)

(1) 文部科学省科学研究費

大園誠一郎 (代表者) 基盤研究 (C) S100ファミリー蛋白の腎癌における早期診断及び分子標的療法に応用に関する検討 130万円 (継続)

永田仁夫 (代表者) 若手研究 (B) 原発性高尿酸血症に対する抗SDH抗体を用いた新しい診断法の開発 130万円 (新規)

(2) 厚生科学研究費

大園誠一郎 (分担者) がん臨床研究事業 早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究 30万円 (継続)

(5) 受託研究または共同研究

大園誠一郎 小野薬品工業株式会社, 第一三共株式会社

麦谷 莊一 大鵬薬品工業株式会社

栗田 豊 サノフィ・アベンティス株式会社

古瀬 洋 アステラス製薬株式会社

高山 達也 ファイザー株式会社, ワイス株式会社

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	23件
(2) シンポジウム発表数	0件	8件
(3) 学会座長回数	0件	14件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	20件
(6) 一般演題発表数	4件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

1. Mugiya S, Ozono S, Kai F, Nagata M, Takayama T, Ushiyama T: INVESTIGATION OF PREOPERATIVE SERUM C-REACTIVE PROTEIN LEVEL ON THE PROGNOSIS FOR PATIENTS WITH LOCALIZED RENAL CELL CARCINOMA. "The 24th Korea-Japan Urological Congress", October 2007, Cheongju, Korea.

ポスター発表

1. Suzuki K, Maruyama S, Takeda M, Otsuka A, Ozono S, Ehlert FJ, Yamada S: Quantification of pharmacologically relevant muscarinic receptor subtypes in human detrusor muscle, mucosa and parotid gland by irreversible inactivation of M3 receptors by 4-DAMP mustard. "5th International Symposium on Receptor Mechanisms, Signal Transduction and Drug Effects (第5回国際受容体シンポジウム)", May 2007, Shizuoka, JAPAN.
2. Otsuka A, Shinbo H, Matsumoto R, Ushiyama T, Ozono S: A molecular biological and functional analysis of β -adrenoceptors in human detrusor smooth muscle and urothelium. International Continence Society 37th Annual Meeting, August 2007, Rotterdam, Netherland.
3. Terada H, Harada M, Ozono S: LOH in Hemodialysis Patients. "The Second Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference", November 2007, Ishikawa, JAPAN.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第24回浜松カンファランス 2007. 07. 28, 浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎, 古瀬 洋, 樋之津史郎, 古賀寛史: 表在性膀胱癌に対する標準的治療戦略, 第95回日本泌尿器科学会総会, 2007. 04. 14, 神戸市
2. 鈴木啓悦, 井上隆朗, 藤澤正人, 三好 進, 松本哲朗, 藤井元廣, 武田正之, 大園誠一郎, 碓井 亜, 公文裕巳, 松田公志, 市川智彦, 三木恒治: 再燃前立腺癌に対するアンチアンドロゲン交替療法の機序と効果, 第95回日本泌尿器科学会総会, 2007. 04. 17, 神戸市
3. 大塚篤史: OABSSを用いた過活動膀胱患者における塩酸プロピペリンの有用性の検討, 第2回浜松医大泌尿器科関連病院OAB研究会, 2007. 04. 19, 浜松市
4. 栗田 豊: ユリーフ関連演題「②症例提示」, 学術講演会, 2007. 04. 27, 浜松市
5. 大園誠一郎: 『EBMに基づく前立腺肥大症診療ガイドラインの評価と問題点』, ユリーフ®カプセル発売1周年記念講演会, 2007. 05. 10, 北九州市
6. 大園誠一郎, 藤岡知昭: 腎癌治療の現況－「腎癌診療ガイドラインを中心に」－, 第50回日本腎臓学会学術総会, 2007. 05. 27, 浜松市
7. 大園誠一郎: 前立腺肥大症の診療－泌尿器科医と非泌尿器科医の相互補完をめざして－ ユリーフ発売1周年記念学術講演会, 2007. 06. 16, 神戸市
8. 大園誠一郎: 表在性膀胱癌の治療戦略－ガイドラインの現状と標準的治療選択－, 第88回山形泌尿器科研究会, 2007. 06. 30, 山形市
9. 大園誠一郎: 排尿障害について－前立腺肥大症の最近の知見を中心に－, 小笠医師会学術講演会, 2007. 07. 26, 掛川市
10. 大園誠一郎: The Paradigm shift in treatment of advanced RCC in Japan, The 17th Bayer Symposium Advance in Urology: 泌尿器科腫瘍に対する分子標的アプローチ－基礎と臨床の最新知見－, 2007. 08. 04, 東京都

11. 麦谷荘一：上部尿路結石に対するTULの適応と問題点，日本尿路結石症学会第17回学術集会2007.08.24，久留米市
12. 大園誠一郎：「EBMに基づく前立腺肥大症診断ガイドライン」の評価と問題点－アウトカムリサーチを踏まえた泌尿器科医の取り組み－，第237回日本泌尿器科学会東北地方会，2007.09.22，青森市
13. 大園誠一郎：再燃前立腺癌の治療戦略－MABから化学療法へ－，筑後泌尿器科医会第67回研修会，2007.09.27，久留米市
14. 大園誠一郎：腎細胞癌治療の現況－分子標的療法時代を迎えるにあたって－，第6回熊本尿路性器癌懇話会，2007.09.29，熊本市
15. 牛山知己：『静岡県における慢性腎臓病の現況と対策』7. 静岡県の腎移植の現況と課題－浜松医科大学における検討，第30回静岡腎不全研究会，2007.10.7，静岡市
16. 大園誠一郎：泌尿器科疾患の薬物療法におけるピットホール，第14回浜名湖セミナー2007.10.20，浜松市
17. 大園誠一郎：BCG注入療法の実際－国内の臨床研究の現状と将来展望－，膀胱癌エキスパートミーティング，2007.11.02，つくば市
18. 麦谷荘一：Endourology：上部尿路腫瘍に対する内視鏡的診断と治療，第21回日本Endourology・ESWL学会総会，2007.11.26，東京都
19. 大園誠一郎：腎細胞癌治療の現況－分子標的療法時代を迎えるにあたって－，山陰泌尿器科学術講演会，2008.02.07，米子市
20. 大園誠一郎：腎細胞癌治療の現況－分子標的療法時代を迎えるにあたって－，愛知県病院薬剤師会講演会，2008.02.14，名古屋市
21. 大園誠一郎：腎細胞癌治療の現況－分子標的療法時代を迎えるにあたって－，ネクサバール 承認記念講演会，2008.03.07，さいたま市
22. 古瀬 洋，原田雅樹，大園誠一郎：stageC前立腺癌の治療の現況－当科におけるホルモン単独療法の成績－，第239回日本泌尿器科学会東海地方会・特別企画，2008.03.09，名古屋市
23. 大園誠一郎：前立腺肥大診療GL－アウトカムリサーチを踏まえた今後の取り組み－，第11回北陸泌尿器科研究会，2008.03.13，金沢市

3) シンポジウム発表

1. 麦谷荘一：腎出血の精査・止血術，第95回日本泌尿器科学会総会，2007.04.15，神戸市
2. 鈴木和雄，鶴 信雄，伊原博行，牛山知己，大園誠一郎：腹腔鏡下前立腺全摘除術における前立腺尖部の処理・神経温存について，第95回日本泌尿器科学会総会，2007.04.16，神戸市
3. 大園誠一郎，高山達也，甲斐文丈，古瀬 洋，麦谷荘一，牛山知己：Incidentalomaのわが国の実態，第34回尿路悪性腫瘍研究会，2007.07.21，東京都
4. 牛山知己，栗田 豊，麦谷荘一，大園誠一郎：止血器具とクリップDo & Undo，第57回日本泌尿器科学会中部総会，2007.11.09，奈良市

5. 平野恭弘, 古瀬 洋, 大園誠一郎: 局所浸潤性膀胱癌に対する動脈注入化学療法を中心とした膀胱温存療法－膀胱全摘除術群との比較－, 第57回日本泌尿器科学会中部総会, 2007. 11. 09, 奈良市
6. 鈴木啓悦, 沖原宏治, 三宅秀明, 藤澤正人, 三好 進, 松本哲朗, 藤井元廣, 松田公志, 大園誠一郎, 武田正之, 碓井 亞, 公文裕巳, 市川智彦, 三木恒治: アンチアンドロゲン交替療法の臨床的意義, 第23回前立腺シンポジウム, 2007. 12. 09, 東京都
7. 大園誠一郎: 表在性膀胱がんのリスク分類について, 第2回静岡表在性膀胱がんシンポジウム, 2008. 03. 01, 静岡市
8. 古瀬 洋: TURの術式とBiopsyの意義, 第2回静岡表在性膀胱がんシンポジウム, 2008. 03. 01, 静岡市

4) 座長をした学会名

- 大園誠一郎 第95回日本泌尿器科学会総会 サテライトセミナー, 2007. 4. 14, 神戸市
 大園誠一郎 第20回日本老年泌尿器科学会 セッション, 2007. 5. 11, 長崎市
 大園誠一郎 第52回日本透析医学会学術集会総会 一般口演, 2007. 6. 15, 大阪市
 大園誠一郎 第26回日本アンドロロジー学会学術大会総会 一般演題, 2007. 7. 5, 浦安市
 大園誠一郎 第14回日本排尿機能学会 モーニングセミナー, 2007. 10. 5, 猪苗代町
 大園誠一郎 第45回日本癌治療学会総会 一般講演, 2007. 10. 26, 京都市
 大園誠一郎 第57回日本泌尿器科学会中部総会 シンポジウム, 2007. 11. 9, 奈良市
 牛山 知己 第95回日本泌尿器科学会総会 一般演題, 2007. 4. 17, 神戸市
 牛山 知己 第50回日本腎臓学会学術総会 一般演題 2007. 5. 27, 浜松市
 牛山 知己 第19回日本内分泌外科学会総会 一般演題 2007. 6. 1, 名古屋市
 牛山 知己 第20回日本Endourology・ESWL学会総会 一般演題 2007. 11. 27, 東京
 牛山 知己 第40回日本臨床腎移植学会 一般演題 2008. 1. 25, 浜松市
 麦谷 荘一 第50回日本腎臓学会学術総会 一般ポスター, 2007. 5. 27, 浜松市
 麦谷 荘一 第57回日本泌尿器科学会中部総会 一般口演, 2007. 11. 8, 奈良市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- 大園誠一郎 日本泌尿器科学会 評議員, 倫理委員, 専門医制度審議会委員
 大園誠一郎 日本癌治療学会 評議員, プログラム委員, 腎がん診療ガイドライン作成委員
 大園誠一郎 日本排尿機能学会 理事, 男性LUTS診療ガイドライン作成委員, 夜間頻尿診療ガイドライン作成委員
 大園誠一郎 日本Endourology・ESWL学会 理事, 将来検討委員 (長)
 大園誠一郎 日本老年泌尿器科学会 評議員
 大園誠一郎 日本腎臓学会 評議員
 大園誠一郎 日本透析医学会 評議員
 大園誠一郎 日本内分泌外科学会 評議員
 大園誠一郎 日本アンドロロジー学会 評議員

大園誠一郎 日本女性骨盤底医学会 理事
 大園誠一郎 日本Men's Health医学会 評議員
 牛山 知己 日本泌尿器科学会 ポーティングメンバー
 牛山 知己 日本超音波医学会 査読委員, 論文審査委員
 牛山 知己 日本内分泌学会 代議員
 牛山 知己 日本Endourology・ESWL学会 評議員
 牛山 知己 日本内分泌外科学会 評議員
 牛山 知己 日本移植学会 評議員
 麦谷 荘一 日本Endourology・ESWL学会 評議員, 尿路結石内視鏡治療標準化委員会委員
 麦谷 荘一 日本超音波医学会 超音波専門医認定試験委員会委員
 麦谷 荘一 日本内分泌外科学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	1件	0件

(1) 国内の英文雑誌の編集

Ozono S : International Journal of Clinical Oncology (日本癌治療学会), Editorial Board,
 PubMed/Medline登録有, インパクトファクター無

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

大園誠一郎 : Japanese Journal of Clinical Oncology (日本) 2回
 International Journal of Clinical Oncology (日本) 3回
 日本透析医学会誌 (日本) 2回
 泌尿器科紀要 (日本) 6回
 Clinical and Experimental Nephrology (日本) 2回
 Journal of Endourology (日本) 1回
 牛山 知己 : International Journal of Urology (日本) 1回
 麦谷 荘一 : International Journal of Urology (日本) 2回
 高山 達也 : International Journal of Urology (日本) 1回
 大塚 篤史 : International Journal of Urology (日本) 1回

9 共同研究の実施状況

	平成19年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成19年度
産学共同研究	0件

11 受賞

(3) 国内での受賞

1. 高山達也：第52回（社）日本透析医学会学術集会・総会 ゴールデンリボン賞 2007.06.17
2. 高山達也：日本尿路結石症学会第17回学術集会 第10回奨励賞 2007.08.24

15 新聞、雑誌等による報道

1. 大塚 篤史「尿を知ろう 脳が制御 絶妙の調和」 静岡新聞 8月5日（日）朝刊
2. 大園誠一郎「尿を知ろう 尿道閉塞，排尿困難に」 静岡新聞 9月23日（日）朝刊